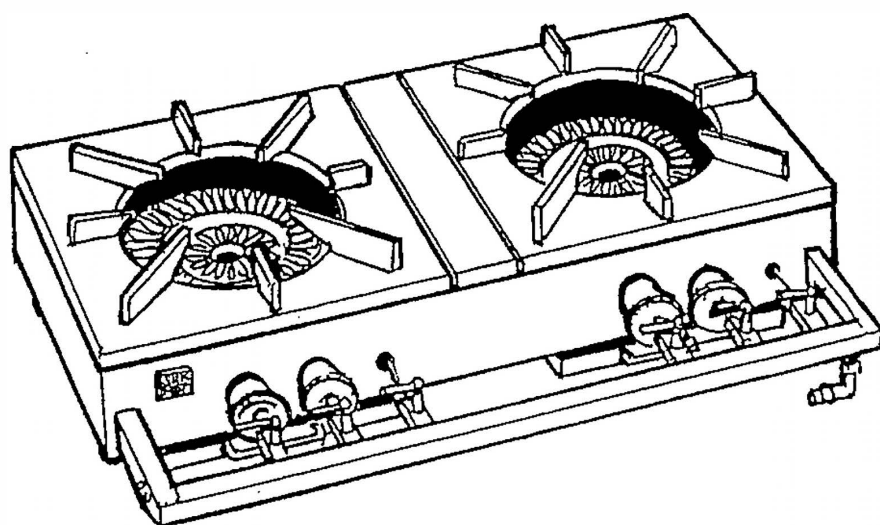


# 業務用ガスコンロ

# 業務用中華レンジ

品番	S-1220
	S-1225
	S-2220
	S-2225
	S-2228



このたびは、業務用ガスコンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。  
製品を末永く安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

# 目 次

□ 《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》	2
■ 表示と意味	
■ 絵表示について次のような意味があります。	
□ 特に注意していただきたいこと	3～5
■ ガス漏れの処置	
■ 使用ガスについての注意	
■ 火災注意	
■ 火災予防	
■ 異常時の処置	
■ 注意－使用上の注意	
■ お願い	
□ 各部の名称と仕様	6
■ 各部の名称	
■ 付属品	
■ 消耗品	
■ 仕様表	
□ 設置について	7
■ 設置前の準備	
■ 設置場所	
■ 設置時の注意	
□ ご使用方法	7、8
■ ご使用前の準備	
■ 操作の方法	
■ 火力の調節	
■ 空気調節	
■ 停電時のご使用方法	
□ 日常の点検・お手入れ	8
■ 点検・お手入れの際の注意	
■ 点検	
■ お手入れ	
□ 故障・異常の見分け方と処置方法	9
□ 長期間使用しない場合	9
□ アフターサービスについて	10
■ サービス(点検・修理など)を依頼される前に	
■ 転居される場合	
■ 保証について	
■ 消耗品	
■ 補修用性能部品の最低保有期間について	
■ 連絡先	
□ 保証書	12




## □ 《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。








ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

### ■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合」が想定されることを表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡または重傷を負う可能性」が想定されることを表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が傷害を負う可能性」が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

### ■絵表示について次のような意味があります。

	一般的な注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火災注意	このような絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
	高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	触手禁止	このような絵表示は、手でふれてはいけない「禁止」内容です。
	必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

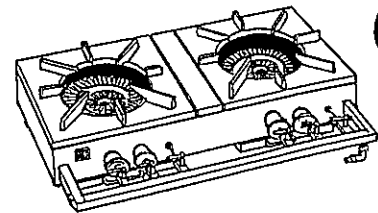
## ⚠ 危険

### ■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具 (換気扇その他) のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、機器の器具栓とガスの元栓を閉じて下さい。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③ お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



## ⚠ 警告

### ■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板 (機器右側面に貼付) に表示しているガス (ガスグループ) を使用する。

転居したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

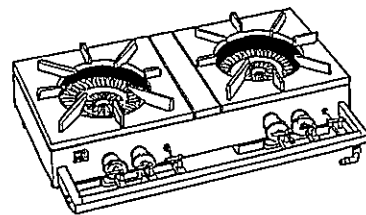
例：都市ガス 12 A, 13 A の場合

S-2220  
都市ガス 12 A, 13 A 用  
ガス消費量 12A 15.35 kW  
13A 16.30 kW  
00.00-000000  
山岡金属工業株式会社

### ■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。  
機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



### ■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

### ■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性 (カーテン、新聞紙、紙袋など) や引火性 (エアゾール缶など) のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

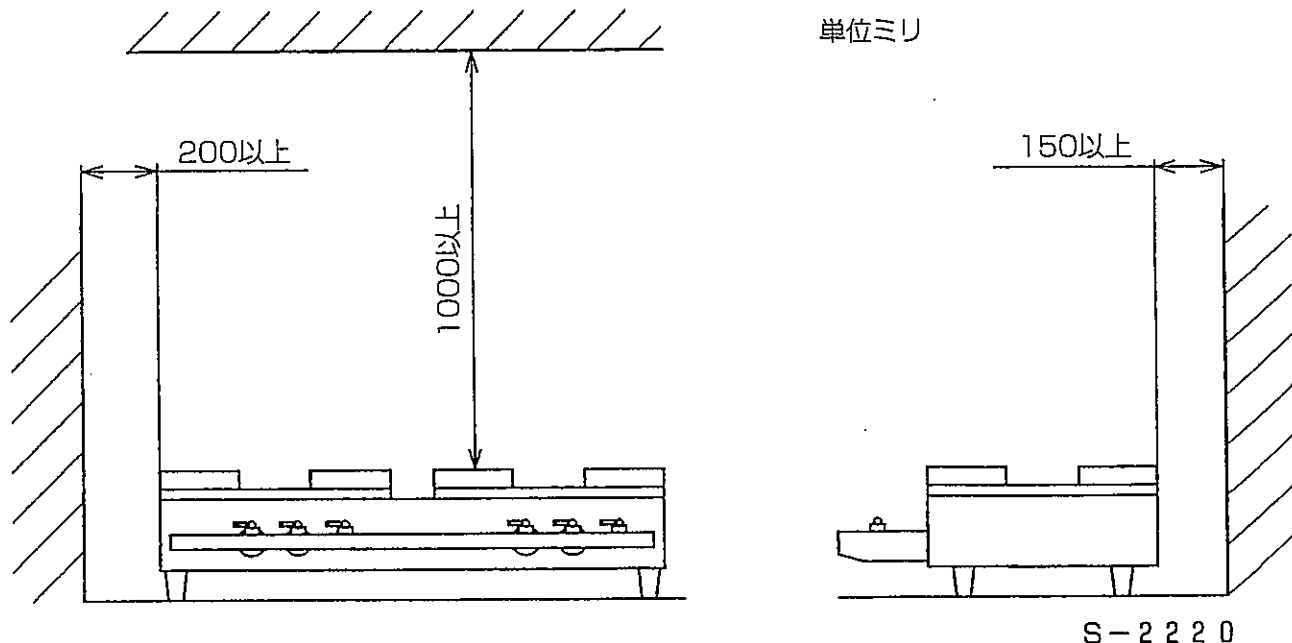
■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 警告

■ 火災予防

設置や移動の際、(家具や壁・棚など)可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。

単位ミリ



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

ガス栓を閉じる

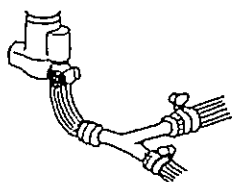


故障・異常の見分け方と処置方法(9ページ)に従って下さい。

⚠ 注意

■ 使用上の注意

ゴムの継ぎたし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部(ゴトク・バーナ等)には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合にはやけどに注意して下さい。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

**⚠ 注意**

■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

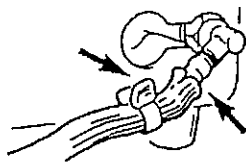
機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 使用上の注意

衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

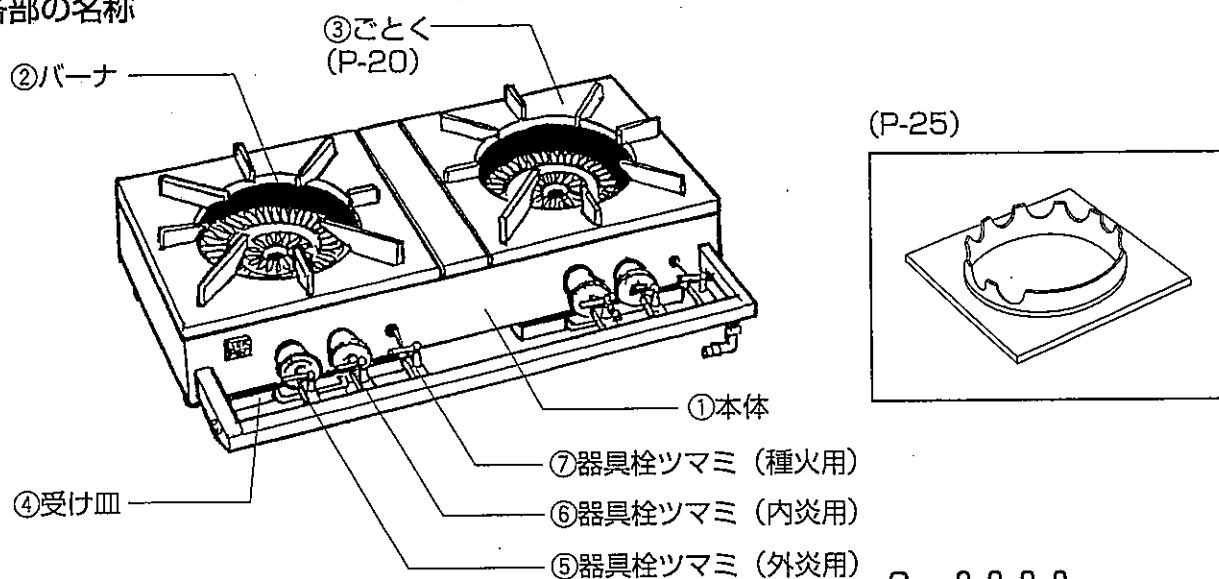
- ・ 補助具はこの料理器用の付属品以外は使用しないで下さい。

**お願い**

- ・ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめて下さい。
- ・ 使用後は消火を確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。

## 各部の名称と仕様

### 各部の名称



S-2220

### 付属品

No.	部品名称	数	はたらき
①	本体	1	バーナを受けている部品
②	バーナ	※2	ガスと空気を混合する部品
③	ごとく	※2	調理する際に鍋などを受ける部品
④	受け皿	※2	ふきこぼれた煮汁やカスを受ける部品
⑤	器具栓つまみ(外炎用)	※2	外炎用バーナの火力調節用つまみ
⑥	器具栓つまみ(内炎用)	※2	内炎用バーナの火力調節用つまみ
⑦	器具栓つまみ(種火用)	※2	種火用バーナの火力調節用つまみ

※数は製品番号によって違います。(仕様表参照)

### 消耗品

バーナ

### 仕様表

※製品番号	S-1220	S-2220	S-1225	S-2225	S-2228		
仕様	1口	2口	1口	2口	2口		
形式番号	S-1200	S-2200	S-1200	S-2200	S-2200		
ごとく番号	P-20×1個	P-20×2個	P-25×1個	P-25×2個	P-20×1個、P-25×1個		
寸法(巾×奥行×高さ)	320×450×158(mm)	700×450×158(mm)	320×450×158(mm)	700×450×158(mm)	700×450×158(mm)		
重量	1.3 kg	27.5 kg	1.4 kg	29.5 kg	28.5 kg		
ガス接続口	LPガス 内径9.5 mmゴム管用自在ホースエンド/都市ガス 内径13 mmゴム管用自在ホースエンド						
空気調節器	メインバーナ可動式						
点火方式	マッチ点火						
ガス消費量	LPガス	7.95 kW (0.57 kg/h)	15.9 kW (1.14 kg/h)	7.95 kW (0.57 kg/h)	15.9 kW (1.14 kg/h)	15.9 kW (1.14 kg/h)	
	都市ガス	13A	8.14 kW (7,000 kcal/h)	16.3 kW (14,000 kcal/h)	8.14 kW (7,000 kcal/h)	16.3 kW (14,000 kcal/h)	16.3 kW (14,000 kcal/h)
		12A	7.67 kW (6,600 kcal/h)	15.35 kW (13,200 kcal/h)	7.67 kW (6,600 kcal/h)	15.35 kW (13,200 kcal/h)	15.35 kW (13,200 kcal/h)

予告なく仕様の一部を変更させていただく事がありますので、ご了承ください。

※製品番号は形式番号とごとく番号の組み合わせによって変わります。

## ■ 設置について

### ■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、※付属品を確認して下さい。  
※ごとは別梱包になっています。

### ■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。
- ・ 安定のよい丈夫で水平な台の上に設置して下さい。不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがをすることがあります。



- ・ 樹脂製の照明器具の下での使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。



### ■ 設置時の注意

- ・ ゴム管の接続時にホースバンドを必ず付けて下さい。
- ・ ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また器具の下を通したり器具に触れたりしない。



## ■ ご使用方法

### ■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・ 全部の器具栓ツマミが「閉」の位置であることの確認
- ・ 機器および機器周辺の確認

### ■ 操作の方法

- ① ガスの元栓を開く。
- ② 点火は、全部の器具栓ツマミが、閉の位置になっていることを確認し、(ガスの流れに対して直角になっていること。) ガス元栓を開けてください。  
使用するコンロ側の器具栓の内、一番右側が種火バーナ用器具栓です、器具栓ツマミを反時計方向に回して、全開にしマッチ等で種火バーナに点火してください。  
中央の器具栓がメインバーナの内炎です、一番左の器具栓が外炎です、どちらも、反時計方向に全開にしてメインバーナに着火してください。
- ③ 消火は、各器具栓ツマミを時計方向にいっぱいまで回して全閉にし消火してください。  
長時間使用されない場合は、必ずガス元栓もしめてください。

### ■ 火力の調節

種火バーナ単独や、内炎、外炎の単独使用で火力調節をおこなってください。  
メインバーナの個々の器具栓を絞って火力調節はできにくい構造となっております。  
無理に炎を小さくすると、立消えの原因となります。



## ■ 空気調節

- ・ 空気調節は、可動式になっています。時計方向に回すと閉で、反時計方向に回すと開の方向です、メインバーナの内炎、外炎単独で、最適な炎になるように調節してください。
- ・ 炎の状態がおかしい時は、販売店か工事業者に連絡して下さい。



① 不良  
内炎、外炎とも先がとがり音をたててとびよるにもみえる。



② 良  
内炎が青い色で先がはつきりみえる。



③ 不良  
炎が長くなり、勢がなくなりフワフワもえ炎の先が黄炎になる。

## ■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、器具栓ツマミを「閉」の位置にし、ガスの元栓を閉じておいて下さい。停電復旧後は、通常の点火操作を行って下さい。

## □ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

### ■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行って下さい。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。

### ■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ・ バーナ周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認して下さい。

### ■ お手入れ

- ・ ごとくなどは、乾いた布でよく拭いて下さい。汚れのひどいときは、石けん水で手入れした後、乾いた布で十分水気をとって下さい。
- ・ バーナの周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので汚れたら清掃して下さい。

## ■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象										処置方法
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛びように燃える	異常な音をたてて燃える (バックファイヤ)	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	
ガスゴム管接続が不完全 ガスの接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする ガスの接続を確実にする
ガスの元栓の開きが不十分		○	○								ガスの元栓を全開にする
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
器具栓ツマミの開き不足		○	○					○		○	器具栓ツマミを一度「閉」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける
LP ガスがなくなりかけている		○	○	○				○	○	○	新しいボンベと交換する

## ■ 長期間使用しない場合

■ 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

## ■ アフターサービスについて

### ■ サービス(点検・修理など)を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に9ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをご知らせ下さい。
  - ① 製品名・製品番号(銘板に表示のもの)・ガスの種類
  - ② 住所・氏名・電話番号・道順
  - ③ 現象(できるだけ詳しく)
  - ④ 製品購入日・訪問希望日

### ■ 転居される場合

- ・ 転居によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

### ■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ケ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
    - ① 誤った使い方をされたときの故障
    - ② 移動によって生じた損傷・故障
    - ③ 改造された場合の故障
    - ④ 天災による損傷・故障
- ※ 修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

### ■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。(6ページを参照)

### ■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この業務用ガスコンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

### ■ 連絡先

- ・ 業務用ガスコンロをお使いになった上で、なにかご不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店が当社へ連絡して下さい。

---

# Memo

---

# **YAMAOKA**

## **山岡金属工業株式会社**

ISO9001・ISO14001 認証取得 JIS 表示許可

本社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号  
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045  
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階  
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722  
ATC展示場 / 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10  
ATCビルITM棟3階「商い繁盛館」内  
ATCグリーンエコプラザ / ATCビルITM棟11階西側

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail [info@silkroom.co.jp](mailto:info@silkroom.co.jp)

夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。

※ISO9001(認証:家庭用ガス調理機器 本社) ISO14001(認証:本社)